

〒 252-0131

TEL: 042-770-9437

FAX: 042-770-9438

神奈川県

相模原市緑区西橋本 5-4-30 SIC-2 301号室

NO: 77777

動物アレルギー—動物病院 御中

### 犬アレルギー特異的IgE検査結果 報告書

受付日付: 平成30年08月01日

報告日付: 平成30年08月04日

飼主名: 増田 様 患者名: トモ 様

性別: 去勢雄 年齢: 11歳2ヶ月 品種: フレンチ・ブルドッグ

#### 環境アレルゲン

数値 (ng/ml) 陰性: 100 要注意: 500 陽性

節足動物	ヤケヒョウヒダニ	75	****		
	コナヒョウヒダニ	60	****		
	アシブトコナダニ	94	*****		
	ノミ	0			
	蚊	0			
カビ	アスペルギルス	518	*****		
	アルテリナリア	0			
	クラドスポリウム	0			
	ペニシリウム	66	****		
キク科植物	ヨモギ	79	****		
	オオブタクサ	49	***		
	アキノキリンソウ	76	****		
	タンポポ	82	*****		
	フランスギク	13	*		
イネ科植物	カモガヤ	12	*		
	ハルガヤ	15	*		
	オオアワガエリ	56	***		
	ホソムギ	9	*		
	ギョウギシバ	8	*		
樹木	ニホンスギ	819	*****		
	シラカンバ	0			
	ハンノキ	0			

#### 食物アレルゲン

数値 (ng/ml) 陰性: 100 要注意: 500 陽性

主要食物アレルゲン	牛肉	36	**		
	豚肉	0			
	鶏肉	0			
	卵白	41	***		
	卵黄	0			
	牛乳	78	****		
	小麦	17	*		
	大豆	0			
除去食アレルゲン	トウモロコシ	124	*****		
	羊肉	55	***		
	馬肉	0			
	七面鳥	0			
	アヒル	14	*		
	サケ	11	*		
	タラ	14	*		
	エンドウ豆	21	**		
	ジャガイモ	0			
	米	0			

#### <参考>

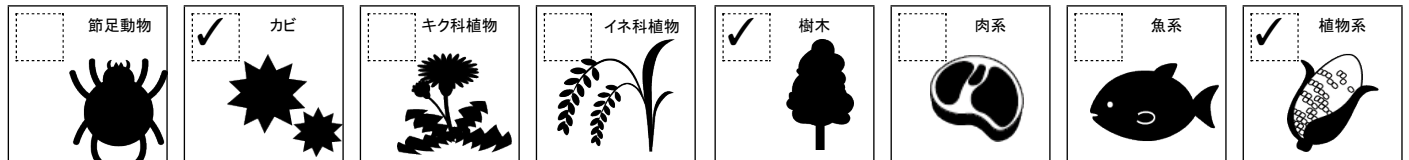
0~99ng/ml (陰性)  
アレルギー症状を起こす危険性のない範囲ですので、現在は原因と考える必要はありません。

100~499ng/ml (要注意)  
アレルギー症状が出ている犬では、原因と考えられます。ただし、アレルギー症状が出ていない犬でもまれに検出されることがあります(5%程度)。

500ng/ml以上 (陽性)  
非常に強いアレルギー症状を起こす危険性があります。

<b>Der f 2 特異的 IgE</b>	<b>3 ng/ml</b>
Der f 2-IgE値	検査数値の解釈
20ng/ml未満	Der f 2への感作がほとんどないか、あるいは軽度の状態
20~50ng/ml	Der f 2の感作はあるが、まだ高くない状態
50ng/ml	Der f 2に十分に感作された状態

#### <結果より推定されるアレルゲン>



〒 252-0131

TEL: 042-770-9437

FAX: 042-770-9438

神奈川県  
相模原市緑区西橋本 5-4-30 SIC-2 301号室

NO: 77777

動物アレルギー動物病院 御中

### リンパ球反応検査結果 報告書

飼主名:増田 様 患者名:トモ 様  
性別:去勢雄 年齢:11歳2ヶ月 品 種:フレンチ・ブルドッグ

受付日付: 平成30年08月01日  
報告日付: 平成30年08月09日

	数値 (%)	0.0	0.4	1.2	1.8
		陰性	要注意	陽性	
主要食物アレルギー	牛肉	0.4	****		
	豚肉	0.1	*		
	鶏肉	0.0			
	卵白	0.5	*****		
	卵黄	0.8	*****		
	牛乳	0.0			
	小麦	1.9	*****	*****	*****
	大豆	1.3	*****	*****	
	トウモロコシ	0.8	*****		
	除去食アレルギー	羊肉	0.0		
馬肉		0.0			
七面鳥		0.0			
アヒル		0.3	***		
サケ		0.2	**		
タラ		0.0			
エンドウ豆		0.6	*****		
ジャガイモ		0.4	***		
米	0.3	***			

<参考基準値>

**陰性:**

0.0 ~ 0.3%

食物アレルギーに反応するリンパ球は認められません。

0.4~1.1%

アレルギー症状の出していない犬でも検出される範囲ですが、食物アレルギーに反応するリンパ球が増え始めています。アレルギー症状を出しやすい犬では発症に関連することがあります。

**要注意:** 1.2%~1.7%

食物アレルギーに反応するリンパ球が増えています。発症に関連する可能性が高いため、食物回避をしてください。ただし、症状の出していない犬でもまれにこの範囲の数値が 検出されることがあります(5%程度)。

**陽性:** 1.8%以上

食物アレルギーに反応するリンパ球が著しく増えています。発症に関連していると考えられますので、食物回避をしてください。

<食物の3つの分類>

食物を肉系、植物系、魚系の3つに分類して考えます。

アレルギー反応を示した項目を含む分類の食物はすべて避け、別の分類の食物を使用した単一タンパクフードを選択することで除去食療法の成功率を高めることができます。

**肉系**




牛肉	羊肉	卵白
豚肉	馬肉	卵黄
鶏肉	牛乳	七面鳥
		アヒル

**植物系**



小麦	エンドウ豆
大豆	ジャガイモ
米	トウモロコシ

**魚系**



サケ
タラ

〒 252-0131

TEL: 042-770-9437

神奈川県

FAX: 042-770-9438

相模原市緑区西橋本 5-4-30 SIC-2 301号室

NO: 777777

動物アレルギー動物病院 御中

## 犬リンパ球サブセット検査結果 報告書

飼主名: 増田 様 患者名: トモ 様

受付日付: 平成30年08月01日

報告日付: 平成30年08月03日

性別: 去勢雄 年齢: 11歳2ヶ月 品種: フレンチ・ブルドッグ

## T細胞/B細胞検査

細胞の種類	生存リンパ球中の割合	参考基準値
T細胞	62.5 %	56.0 ~ 89.2%
B細胞	28.1 %	4.7 ~ 29.6%

T細胞: がん細胞、ウイルス、細菌、アレルギーに対して反応し、細胞性免疫に関わるリンパ球です。

B細胞: 抗体を産生し、液性免疫に関わるリンパ球です。

## ヘルパーT細胞/キラーT細胞検査

細胞の種類	生存リンパ球中の割合	ヘルパーT細胞/ キラーT細胞の比率 (CD4/8比)	参考基準値	
			割合	比率
ヘルパーT細胞	22.0 % ↓	0.5 ↓	27.1~62.2%	0.6~3.9
キラーT細胞	43.5 % ↑		10.9~41.4%	

ヘルパーT細胞: 細菌感染やアレルギーに対して反応するリンパ球です。

キラーT細胞: がん細胞、ウイルス感染細胞を認識し、それらを攻撃・排除するリンパ球です。

## NK細胞検査

細胞の種類	生存リンパ球中の割合	参考基準値
NK細胞	33.5 % ↑	1.7~26.1%

NK細胞: がん細胞、ウイルス感染細胞をみつけてそれらを攻撃・排除するリンパ球です。自然免疫に関わるリンパ球です。

〒 252-0131

TEL: 042-770-9437

FAX: 042-770-9438

神奈川県

相模原市緑区西橋本 5-4-30 SIC-2 301号室

NO: 77778

動物アレルギー—動物病院 御中

### 猫アレルギー特異的IgE検査結果 報告書

飼主名:鈴木 様 患者名:ぽてと 様  
性別:去勢雄 年齢:4歳2ヶ月 品種:雑種

受付日付: 平成30年08月01日

報告日付: 平成30年08月05日

#### 環境アレルゲン

数値 (ng/ml) 陰性 30 50 陽性  
: 要注意

節足動物	ヤケヒョウヒダニ	0			
	コナヒョウヒダニ	50	*****		
	アシトコナダニ	15	****		
	ノミ	0			
	蚊	0			
カビ	アスペルギルス	0			
	アルテリナリア	0			
	クラドスポリウム	0			
	ペニシリウム	0			
キク科植物	ヨモギ	0			
	オオブタクサ	0			
	アキノキリンソウ	0			
	タンポポ	0			
	フランスギク	0			
イネ科植物	カモガヤ	0			
	ハルガヤ	0			
	オオアワガエリ	0			
	ホソムギ	0			
	ギョウギシバ	0			
樹木	ニホンスギ	30	*****		
	シラカンバ	0			
	ハンノキ	0			

#### 食物アレルゲン

数値 (ng/ml) 陰性 30 50 陽性  
: 要注意

肉系	鶏肉	0			
	卵白	0			
	卵黄	0			
	七面鳥	0			
	アヒル	0			
	牛肉	60	*****		
	牛乳	0			
魚系	羊肉	0			
	豚肉	0			
	カツオ	0			
	マグロ	0			
植物系	サケ	0			
	タラ	0			
	小麦	0			
	トウモロコシ	20	*****		
	米	0			
大豆	0				
ジャガイモ	0				

<参考>

0~29ng/ml (陰性)

アレルギー症状を起こす危険性のない範囲ですので、現在は原因と考える必要はありません。

30~49ng/ml (要注意)

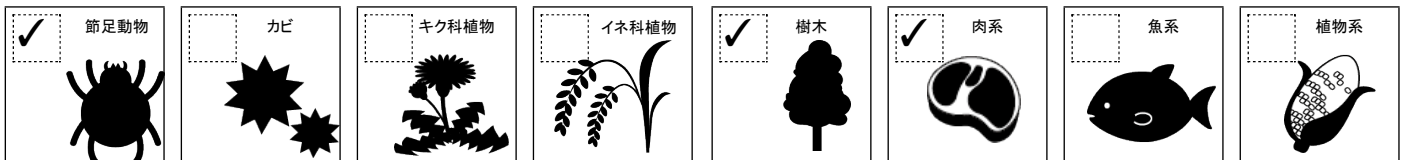
アレルギー症状が出ている猫では、原因と考えられます。

ただし、アレルギー症状が出ていない猫でもまれに検出されることがあります(5%程度)。

50ng/ml以上 (陽性)

アレルギー症状を起こす危険性が高いことを示しています。

<結果より推定されるアレルゲン>



〒 252-0131

TEL: 042-770-9437

神奈川県

FAX: 042-770-9438

相模原市緑区西橋本 5-4-30 SIC-2 301号室

NO: 777778

動物アレルギー動物病院 御中

## 猫リンパ球サブセット検査結果 報告書

飼主名: 鈴木 様 患者名: ぽてと 様

受付日付: 平成30年08月01日

報告日付: 平成30年08月03日

性別: 去勢雄 年齢: 4歳2ヶ月 品種: 雑種

## T細胞/B細胞検査

細胞の種類	生存リンパ球中の割合	参考基準値
T細胞	54.5 %	32.5 ~ 92.5%
B細胞	39.1 %	6.2 ~ 57.0%

T細胞: がん細胞、ウイルス、細菌、アレルゲンに対して反応し、細胞性免疫に関わるリンパ球です。

B細胞: 抗体を産生し、液性免疫に関わるリンパ球です。

## ヘルパーT細胞/キラーT細胞検査

細胞の種類	生存リンパ球中の割合	ヘルパーT細胞/ キラーT細胞の比率 (CD4/8比)	参考基準値	
			割合	比率
ヘルパーT細胞	37.8 %	2.8	18.7~55.9%	0.5~4.5
キラーT細胞	13.5 %		3.9~27.5%	

ヘルパーT細胞: 細菌感染やアレルゲンに対して反応するリンパ球です。

キラーT細胞: がん細胞、ウイルス感染細胞を認識し、それらを攻撃・排除するリンパ球です。